

向陽中学校だより<第15号>



走れ向陽!

～志のある
夢の実現めざして～

<学校目標> 「知性」「品格」「至誠」「体力」を身につけた活力ある生徒
<重点目標> 誰とでも対話し、目標達成に向け創意工夫してやり抜く

平成30年12月21日(金)
<発行者> 校長 箭内仁史
〒976-0037
相馬市中野字桜町76
TEL.35-2348 Fax35-2849

本日で実り多い2学期が修了しました

4月に全校生徒340名で順調にスタートして8ヶ月が過ぎ、今年も残り10日足らずとなりました。大きな事件・事故もなく実りの多かった2学期が、本日終了しました。会員数が減少する中、本年度も長期休業中の巡回や資源物の回収、平成最後の向陽祭の模擬店やバザーの開催では大変お世話になりました。また、各専門委員会の行事等を大成功裏に終える(1学年行事は1月実施)ことができました。夜遅くまで計画や段取りに前向きに話し合ってくださいました。心強い学校の応援団としてチームワークを生かして取り組んでいただきました齋藤会長様、役員の皆様、PTAOB、そして全会員の皆様に心より厚く御礼と感謝を申し上げます。



～来年に向けて～

<本日の終業式辞より>



吉野源三郎さんの『君たちはどう生きるか』という本の一節を紹介します。この本の登場人物は、中学2年の本田潤一君とお母様の弟である叔父さんです。叔父さんは潤一君がものを考えるとき、普通とは違う発想をすることから、潤一君をコペルニクスにちなんでコペル君と呼ぶようになりました。コペル君は悩みや疑問に思った事を次々に質問します。叔父さんは丁寧に答え、時には厳しく示唆を与えることで、私たちに「生きる上で本当に大切なことは何か」を考えさせてくれます。家が貧しいとか、お弁当のおかずのことでいじめられる友達を見て、コペル君は友達を助けるべきか迷い葛藤します。また、親友が上級生から目をつけられ、リンチされる事件に遭遇したとき、身がすくみ、友達との約束を守れず傍観し、それを後悔し寝込んでしまう場面があります。取り返しのつかない悔恨の気持ちにさいなまれ、学校に行けなくなります。皆さんにも自らの行動を決める時に悩み葛藤した経験があるでしょう。皆さんはそのような時どうしましたか。作者の吉野さんは、その時のコペル君の心の動きを詳細に記述し、読者に対し「おじさんノート」を通して回答を寄せ、「いかに周囲の人と関わり、どう生きるか」を語っています。

年末から年始にかけ、忙しい日々が続くと思いますが、来年になっても構いません。ぜひ、この本を読むなりし自分がどう生きるかを考えていってください。

冬休みの過ごし方については事件・事故防止についての事前指導を行いました。家族団らんの場を大切にしながら、お子さんとよくお話してください。よいお年をお迎えください。

善意が集まった赤い羽根共同募金

一人暮らしのお年寄りや障害のある人など私たちのすむ町で助けを必要としている人たちのために活動するボランティア団体などに、助成する助け合いの精神に基づいて毎年行われている募金活動です。

本校では、JRC委員会が中心となって2日間に渡り生徒、教職員に呼びかけ募金活動を行いました。善意の募金総計は40,518円となり、JRC委員長の〇さん、副委員長の〇〇さんが代表として相馬市共同募金委員会に手渡しました。



お知らせ

前号でお知らせした人権作文コンクール県大会で表彰された〇〇さんに加え、本校において、「奨励賞」に2年生の〇さん、〇〇さん、〇〇さん、〇〇さん、〇〇君が表彰されました。



多数の生徒が応募した向陽中には法務省人権擁護局より「感謝状」をいただきました。その

他多くの作品が入賞しました。皆さん、おめでとうございます。文化面でも頑張っている向陽中生です。



1日(火)	元旦	17日(木)	1年PTA行事 e-ネット安心講座
8日(火)	3学期始業式(給食・部活動有り)	20日(日)	資源物回収(バレーボール・美術)
9日(水)	1, 2年課題テスト 3年実力テスト	23日(水)	3年学年末テスト(～24日)
14日(月)	(祝)成人の日	31日(木)	県立高校I期・連携型選抜

学校長指示・示達事項

(12/14の職員会議で示した一部です。)

〔1月〕学校経営の重点

「新年の抱負や目標の実現目指して、3学期のスタートダッシュを」

1月の学校生活目標「新年の目標を設定し、礼儀と規則正しい生活を送る」
 ◇実践の重点<(1年)新年の目標を立てさせる (2年)新年の抱負と決意を持たせる (3年)進路実現に向け、落ち着いた生活をさせる『いじめアンケート』実施、『情報モラル確認日』配付>
 (・時間の厳守、正しい服装と言葉遣い、学校生活のきまり ※新年の行事等を通して礼儀の指導を行う)

1 学習指導、学級経営(子どもの良さを伸ばす学級づくり)の充実を

- (1) どの生徒にも新年にかける抱負や目標をしっかり持たせ、意欲的に取り組ませる。
 ⇒ 3学期(授業日数、1・2年生51日、3年生45日)の目標・めあて作りを
 ○ 元気で楽しい学校生活、いじめ・不登校のない学年・学級作りを。
 ○ 子どもの良いところを子どもたちだけでなく、保護者にも紹介する。
- (2) 一人ひとりの学力の状況を把握し、個に応じた指導を通して、現学年の学習内容を確実に身につけさせる。未履修のないように。
 ○ 「確実な定着を」⇒できないこと、できないところはできるまで指導を。
 ○ 「継続は力なり」⇒できるまで繰り返し、賞賛しながら、確実になるまで。

2 冬の保健、食育指導の充実を

- (1) 冬季間の健康の保持・増進に取り組ませる。
 ○ 手洗い・うがいの励行により、インフルエンザ、感染性胃腸炎などにかからないようにさせる。また、防寒具の着用、室内の換気など健康管理に注意させる。
- (2) 1月下旬の給食週間を中心に食育の指導を充実させる。
 ○ 全国学校給食週間(1/24-30)を給食や食事について学ばせる機会とする。
 (震災後の給食の有り難さ、感謝の心、食と農業、食べ残し、食糧問題 など)

3 特色ある「平成31年度向陽中学校教育課程」の編成を

～生徒・地域の実態を捉え、内容を伴った教育課程に～

- 生徒主体の教育・質の高い教育実践、確かな学力の向上を目指して
- 30年度の教師の反省、生徒・保護者アンケート・学校関係者評価の結果等を生かす
- JRC(気づき、考え、主体的に行動する)及び新学習指導要領(主体的、対話的で深い学び)の趣旨を生かして⇒我々自身も行動で示していきたい。

4 向陽中学校教職員としての自己研修を

- 人間性・社会性の修養(一人の社会人として、向陽中の教職員として)
- 教職員としてのマインド(気遣い、思いやり、気づく心、感じる気持ち、対応)
- 生徒との心のキャッチボール(挨拶、話しかけ、目配り・気配り、励まし等)
- 学校(教師)の力(校長室の力、職員室の力、事務室・保健室・相談室の力等も含めて)の更なる向上